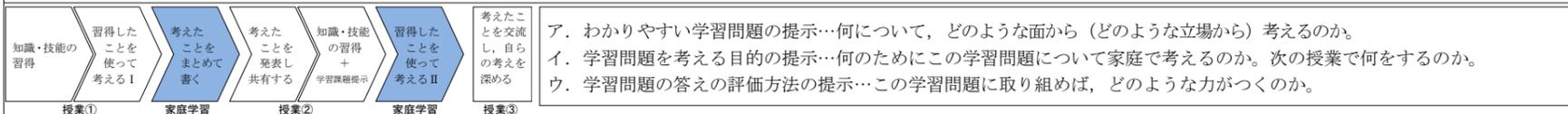


**授業と授業をつなぐ学習問題事例（黄色の部分） 使い方：この学習問題を「宿題」として示し、子どもたちが考えてきたことを次の授業で交流させてみましょう。**

中学校社会科地理的分野課題例 第1部 世界のさまざまな地域 3章 世界の諸地域	5節 南アメリカ州
単元を貫く課題(主題)	学習指導要領解説から<主題例>森林破壊と環境保全“なぜアマゾンの森林が減少し、サトウキビ栽培が増加しているのか”という問いを立て、アマゾンの森林破壊の実態、サトウキビ・小麦の生産地域の変遷、バイオ燃料の普及、焼畑をする人々の暮らし、環境保全に対する農民の意識や政策などを追究すると、環境問題やエネルギー問題に地域に即してとらえられ、南アメリカの地域的特色の理解につながる。

単元展開例（授業と家庭学習をつなぐ展開）



ア. わかりやすい学習問題の提示…何について、どのような面から（どのような立場から）考えるのか。  
 イ. 学習問題を考える目的の提示…何のためにこの学習問題について家庭で考えるのか。次の授業で何をするのか。  
 ウ. 学習問題の答えの評価方法の提示…この学習問題に取り組み、どのような力がつくのか。

本 時 の 展 開 例	①「1. 南アメリカの多様な自然環境 2. 南アメリカの歴史と文化」		②「3. 変化する農業と鉱工業」		③「4. ブラジルにみる環境問題と対策」	
	学習課題	南アメリカ州の自然環境と人々の生活の特色を説明しよう。	学習課題	南アメリカ州の抱える課題と可能性は何だろう。	学習課題	南アメリカ州の抱える課題と可能性は何だろう。
	発問1	雨温図と緯度から考えると、ブエノスアイレスの夏は何月だろう。	発問1	植民地支配は、南アメリカ州の人々の農業と鉱工業にどのような影響を与えただろう。	発問1	現在の南アメリカ州が抱える問題は何だろう。
	資料	教科書 p. 90～91 本文 教科書 p. 90 資料④南アメリカ州の自然、資料⑥南アメリカ州のおもな都市の雨温図 NHK for School 10min ボックス「南アメリカ州」scene2「イグアスの滝、パンパ」	資料	教科書 p. 94～95 本文 【農業について】 教科書 p. 94 資料①コーヒー豆の収穫、資料②コーヒー豆の生産、「大農場」についての言葉の説明①「おもにヨーロッパ系の地主が農地や牧場をもっており、現地の人々が労働者として家族とともに住みこみで働いています」、資料④牛肉の生産 【鉱工業について】 教科書 p. 95 資料⑥おもな国の輸出品 NHK for School 10min ボックス「南アメリカ州」scene5「経済成長を続けるブラジル」	資料	教科書 p. 96～97 本文 教科書 p. 96 資料①熱帯林を切りひらいてつくられた製材所、資料②アマゾンの森林伐採面積の推移、資料③熱帯林を切りひらいてつくられた牧場、p. 97 資料④アマゾン川流域の開発地域と保全地域 NHK for School 10min ボックス「南アメリカ州」scene6「失われていくアマゾンの森」scene7「熱帯雨林を切り開いて」scene8「エネルギーの原料となるさとうきび」
	予想される答え	12月～2月頃だといえる。 理由：雨温図に示される気温の変化が、12月～2月頃が高いのに対して、6月～8月頃が低い ため。	予想される答え	・19世紀初→コーヒー栽培の大農場がひらかれる。 ・大農場に先住民、アフリカからつれてこられた人々、ヨーロッパからの移住者が働く。 ・コーヒーは、北アメリカやヨーロッパをはじめとする外国に輸出するための重要な農産物になった。 ・南アメリカの鉱産資源（ペネズエラの原油、ブラジルの鉄鉱石、チリの銅など）が大量に輸出されるようになった。	予想される答え	例：「牧場や農場のために熱帯林が開発され、大規模に失われた結果…」 ・二酸化炭素を吸収する量が減少し、地球温暖化が進む。 ・貴重な動植物が絶滅したり、先住民の伝統的な生活がおびやかされたりする。
	発問2	植民地支配が南アメリカ州の人々の生活にもたらした影響は何だろう。	発問2	なぜコーヒーから大豆やさとうきび畑に変える農家が増えているのだろう。	発問2	熱帯林を切り開いて、さとうきび畑を広げること賛成ですか、反対ですか。
	資料	教科書 p. 92～93 本文 教科書 p. 93 資料③南アメリカ州のおもな言語と人種・民族の構成、資料①リオデジャネイロのカーニバル、資料②サンバの音楽の練習風景、資料④日本文化の残る町なみ、資料⑤アルゼンチンタンゴ NHK for School 10min ボックス「南アメリカ州」scene3「アンデス山脈、マチュピチュ」scene5「経済成長を続けるブラジル」	資料	教科書 p. 94～95 本文 教科書 p. 94 資料③ブラジルのコーヒー豆と大豆の生産、資料①リオデジャネイロのカーニバル、声「サンパウロのコーヒー農場で働く人の話」 NHK for School 10min ボックス「南アメリカ州」scene6「失われていくアマゾンの森」scene7「熱帯雨林を切り開いて」scene8「エネルギーの原料となるさとうきび」	資料	発問の主旨 アマゾンの森林伐採について、先住民の立場、熱帯林入植者の立場、コーヒー農場で働く人の立場など、立場によって問題のとらえ方が違うことを確認する。その上で、賛成・反対の両方の意見を考え、問題を解決するためにはどうすればよいか、学習したことや経験を基に考える。また、家庭学習として、家の人とこの話題で話をし、新たに発見したことも含めてふりかえりシートに表現する。 発問1資料 声「熱帯林の入植者の話」、p. 97 資料④アマゾン川流域の開発地域と保全地域、資料⑤ガソリンスタンドで売られているバイオ燃料、資料⑥ブラジルのさとうきび生産の推移
	予想される答え	「言語」ブラジル→ポルトガル語、ギアナ→フランス語、スリナム→オランダ語、ガイアナ→英語、他はすべてスペイン語 「宗教」キリスト教カトリック 「人種・民族」先住民、ヨーロッパ系（ラテン民族）、アフリカ系（植民地時代強制的に連れてこられた）、アジア系（20世紀に日本からも移民・日系人）、民族間の混血が進む。 「祭り」カーニバル→ヨーロッパのカーニバルとアフリカのサンバが加わり、新しいカーニバルに。タンゴ→アルゼンチン舞踊音楽は、ヨーロッパ、アフリカ、現地の音楽が混ざり合ってきた。	予想される答え	・ブラジルの農業がコーヒーの輸出に頼りすぎていた（＝モノカルチャー経済）ため、不作になったり、生産が多すぎて輸出価格が下がったりすると、経済が大きな打撃を受けるから。（＝南アメリカ経済の問題点）→コーヒーだけにたよらない農業を実現するため。 ・ブラジル高原やパンパなど、降水量が少なく、これまであまり農業が行われていなかった地域でも、栽培技術の進歩や、新しい品種の開発により、大豆の大規模な栽培ができるようになったため。 ・生産された大豆が、日本や中国、ヨーロッパなどに輸出されるため。 ・さとうきびから環境に優しいバイオ燃料（バイオエタノール）が生産されるため。	予想される答え	〔賛成〕 ・安い砂糖やバイオ燃料を作らないと、CO2が減らない。 ・農家や開拓する人の生活が安定しない。 〔反対〕 ・先住民の伝統的な生活が破壊され、これまでの自分たちの生活が失われてしまう可能性がある。 ・熱帯林が減少すれば、CO2を吸収する力が弱まり、地球温暖化が進む。
	授業と授業をつなぐ学習問題（次の授業までにやってくる学習問題）	植民地支配は、南アメリカ州の人々の農業と鉱工業にどのような影響を与えただろう。	授業と授業をつなぐ学習問題（次の授業までにやってくる学習問題）	現在の南アメリカ州が抱える問題は何だろう。	単元で学習したことを使って考える学習問題	それぞれの人々の幸せとは何だろう。また、みんなが幸せになるためにはどうすればよいらろう。